

# 緑ヶ丘公園 (帯広市)

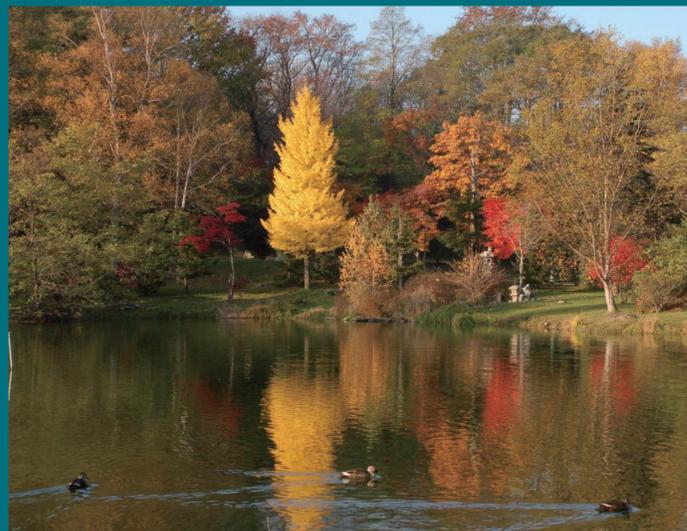


広大な芝生広場と、ギネスにも記録されたベンチ

## 十勝らしく、おおらかに広がる緑の楽園

50.5haという広大な面積を有する緑ヶ丘公園は、道東では2番目に古い歴史を持つ総合公園である。十勝監獄用地の払い下げ地という歴史を持ち、園内には煉瓦造の石油庫や登り窯跡、囚人延べ3,260人により掘られた十勝ヶ池など、当時の記憶を伝える風景も残している。

園内には、時代の変化に合わせて様々な施設が整備されており、国内開設3番目となる野草園は、十勝平野の自然植生が保全され、本郷新の提唱によって作られた「彫刻の径」には、十勝産の御影石で彫られた彫刻が配置されている。さらには隣接する刑務所跡地を、広々としたグリーンパークとして公園区域に取り込むなど、地域の歴史、場の記憶の伝承という「地域的価値」に加えて、良質な景観形成や、地域の特性を強く表現している造形性などが高く評価される。



囚人によって掘られた十勝ヶ池

### 概要

名称	緑ヶ丘公園
所在地	帯広市緑ヶ丘2
管理者	帯広市
規模	50.5ha
種別等	都市公園（総合公園）
開設年	1929（昭和4）年
告示年	1950（昭和25）年都市公園告示

十勝監獄石油庫は、1996（平成8）年に帯広市指定文化財に指定



文化財にも指定されている十勝監獄石油庫